

一般質問



人口減少対策の子育て、観光、庁舎を考える



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

子育て支援について

問 石部子育て支援センターと学童保育所のスペースを共用していることで支援センターとしては1日2時間しか使えず、長期休暇中は閉所になり、また相談室などが物置となつていきます。改善についての見解は。

答 ご指摘のとおり、開館時間が短い点が課題と認識していますが、安心して相談いただける環境づくりに今後も努めていきます。

歴史を活かした観光振興について

問 文化財保存におけるヘリテージマネージャーの活用について。
答 今後、歴史的建造物の調査を実施することになりましたら、ヘリテージマネージャーである方にも協力をお願いしたいと考えています。

東庁舎周辺整備計画の費用について

問 多額の起債に依存した投資を続けた結果、財政破綻をしている自治体があります。新庁舎の建設予算を見直し、2割削減した自治体もあります。125億円もの費用がかかる計画は見直す必要があるのではないかと。

答 現在取り組んでいる庁舎の実施設設計で精査を行い、可能な限り事業費の縮減に努めたいと考えています。

東庁舎建設の後、医療施設を含む西庁舎周辺整備を行うのも財政的に無理があると考えますが見解について。

答 西庁舎周辺整備にかかる施設の詳細や財源で決定しているものはありません。今後、市民の意見を伺って決定していきたいと考えています。



湖南市の地域医療について



会派 Kiku ● 松原 栄樹 議員

問 国・社会全体の医療体制は、地域医療の充実を最重要としていますが。

答 市民の健康を支える医療体制として、疾病の予防や健康維持・増進のためとし、地域での医療提供体制の強化と医療・介護、予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括システムの構築を目指してきました。そして、高齢化社会に対応するため、訪問診療の強化などに取り組んできました。市内には医療機関が27カ所あります。市内医療機関からの聞き取りでは、様々な要因から通院されているの診療が大部分です。

今後の対応・課題は。

答 市立医療機関の医師の確保が難しく、また、高齢化による医療機関の継承についての不安もあります。市内

開業医をはじめとする医療機関の意見や県の動向を見ながら、また、他の自治体の取り組み事例も参考に、市民の健康を支える医療体制の構築に向けて取り組めます。

体験学習について

問 湖南市教育の中で、体験学習をどの様に取入れられていますか。

答 体験活動は貴重な学習機会であり、特に五感を働かせた自然体験、協調性や自律性を育む集団活動などの多くの学びを得るものと考えています。

問 市内宿泊体験施設は皆無です。今後の考えは。

答 雨山の研修館や体育館などの既存施設を、様々な体験学習の場としての利活用を。

問 10年先のことも、市内に象徴的なスタジアムの建設を夢みては、素敵なことです。